

平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 薬王堂

コード番号 3385 URL <http://www.yakuodo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西郷 辰弘

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 小笠原 康浩

TEL 019-697-8480

四半期報告書提出予定日 平成25年10月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の業績(平成25年3月1日～平成25年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	26,034	6.3	981	0.1	1,082	0.7	621	△15.6
25年2月期第2四半期	24,488	—	980	—	1,074	—	735	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	217.75	—
25年2月期第2四半期	257.87	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第2四半期	22,956	8,308	36.2
25年2月期	19,239	7,829	40.7

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 8,308百万円 25年2月期 7,829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	50.00	50.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 2月期の業績予想(平成25年 3月 1日～平成26年 2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,680	10.1	1,990	6.2	2,100	3.0	1,185	3.5	415.30

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期2Q	3,001,200 株	25年2月期	3,001,200 株
26年2月期2Q	147,850 株	25年2月期	147,850 株
26年2月期2Q	2,853,350 株	25年2月期2Q	2,853,397 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社の四半期財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期会計期間及び第1四半期累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第2四半期累計期間	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 仕入及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、新たな経済政策への期待から円高是正や株価回復が進み、景況感には改善の動きが見られたものの、実体経済への反映には至らず、依然として景気の先行きは不透明な状況にあります。

当社の営業基盤であります東北地方においては、震災復興による建設関連が全体を牽引しているものの、個人消費回復の動きは弱く、冷夏による天候不順などにより、厳しい経営環境となりました。

このような状況の中、当社といたしましては、ドラッグストアを岩手県に7店舗、青森県に1店舗、秋田県に1店舗、宮城県に4店舗、山形県に2店舗を新規出店するとともに、8店舗の既存店改装を実施し店舗活性化に努めました。また、岩手県と宮城県のドラッグストア2店舗を退店し、当第2四半期会計期間末の店舗数は158店舗（うち調剤併設型4店舗、調剤専門薬局1店舗）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は260億3千4百万円（前年同四半期比6.3%増）、営業利益は9億8千1百万円（前年同四半期比0.1%増）、経常利益は10億8千2百万円（前年同四半期比0.7%増）、四半期純利益は6億2千1百万円（前年同四半期比15.6%減）となりました。

また、部門別の業績は次のとおりであります。

① ヘルスケア部門

医薬品は健康食品や鼻炎薬、目薬等の花粉症関連が伸長いたしました。衛生用品ではマスクや生理用品等が伸長し、ベビー用品では紙おむつやベビーフード等が伸長いたしました。調剤も堅調に推移いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比4.2%増加し、68億6千4百万円となりました。

② ビューティケア部門

化粧品はカウンセリング化粧品、男性化粧品等が伸張し、トイレタリーではオーラルケア、ヘアケア、ボディシャンプー等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比4.4%増加し、49億9千4百万円となりました。

③ ホームケア部門

日用品は衣料用洗剤や台所用品等が伸張し、衣料品では軽衣料や履物等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比3.7%増加し、31億1千8百万円となりました。

④ コンビニエンスケア部門

食品では菓子、加工食品、日配品等が伸張し、酒類ではビール、焼酎等が伸張いたしました。バラエティ部門はペット関連商品等が伸張いたしました。この結果、売上高は前年同四半期比9.4%増加し、110億5千7百万円となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の流動資産は105億6千8百万円となり、前事業年度末に比べ22億3千万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、現金及び預金が8億2百万円増加したことや新規出店等に伴う商品の増加が11億5千万円あったことがあげられます。

固定資産は123億8千7百万円となり、前事業年度末に比べ14億8千6百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、新規出店に伴い建物等の有形固定資産が14億6百万円増加したことがあげられます。

流動負債は110億9千3百万円となり、前事業年度末に比べ28億8千万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、買掛金が25億4百万円増加したこと等があげられます。

固定負債は35億5千4百万円となり、前事業年度末に比べ3億5千7百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、新規借入れにより長期借入金が3億2千2百万円増加したことがあげられます。

純資産合計は83億8百万円となり、前事業年度末に比べ4億7千8百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、利益剰余金の増加があげられます。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による資金の増加が24億8千4百万円、投資活動による資金の減少が18億5百万円、財務活動による資金の増加が1億2千3百万円となったことにより、前事業年度末に比べ8億2百万円増加し、当第2四半期会計期間末には18億1百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローとそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、24億8千4百万円（前年同四半期比96.8%増）となりました。これは税引前四半期純利益が10億8千1百万円となったことや仕入債務の増加が25億4百万円、たな卸資産の増加が11億5千万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、18億5百万円（前年同四半期比23.4%増）となりました。これは、主に新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出が16億9千4百万円あったことや敷金及び保証金の差入れによる支出が7千1百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、1億2千3百万円（前年同四半期比13.2%増）となりました。これは、長期借入れによる収入が12億円あったものの、長期借入金の返済による支出が9億円あったこと、配当金の支払額が1億4千2百万円あったこと等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間においては、概ね計画通りに推移していることから、平成25年4月9日に公表しました業績予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	999	1,801
売掛金	137	176
商品	6,440	7,590
貯蔵品	6	7
その他	754	993
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	8,338	10,568
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,597	6,858
土地	686	686
その他（純額）	811	956
有形固定資産合計	7,095	8,501
無形固定資産	174	239
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,756	2,711
その他	904	943
貸倒引当金	△30	△8
投資その他の資産合計	3,630	3,646
固定資産合計	10,900	12,387
資産合計	19,239	22,956
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,133	7,637
1年内返済予定の長期借入金	1,461	1,438
未払法人税等	533	525
賞与引当金	254	326
店舗閉鎖損失引当金	13	5
ポイント引当金	19	27
その他	797	1,132
流動負債合計	8,212	11,093
固定負債		
長期借入金	2,459	2,782
退職給付引当金	99	103
資産除去債務	394	450
その他	243	218
固定負債合計	3,197	3,554
負債合計	11,409	14,647

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成25年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	799	799
資本剰余金	840	840
利益剰余金	6,268	6,747
自己株式	△78	△78
株主資本合計	7,829	8,308
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
評価・換算差額等合計	△0	△0
純資産合計	7,829	8,308
負債純資産合計	19,239	22,956

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
売上高	24,488	26,034
売上原価	18,812	20,018
売上総利益	5,675	6,016
販売費及び一般管理費	4,695	5,034
営業利益	980	981
営業外収益		
受取利息	10	16
受取配当金	0	0
受取事務手数料	34	45
不動産賃貸料	536	2
固定資産受贈益	11	25
その他	34	30
営業外収益合計	626	120
営業外費用		
支払利息	23	18
不動産賃貸原価	507	—
その他	1	1
営業外費用合計	532	19
経常利益	1,074	1,082
特別利益		
補助金収入	—	44
抱合せ株式消滅差益	145	—
特別利益合計	145	44
特別損失		
固定資産除却損	1	—
減損損失	5	—
賃貸借契約解約損	1	0
固定資産圧縮損	—	44
特別損失合計	8	45
税引前四半期純利益	1,211	1,081
法人税、住民税及び事業税	481	491
法人税等調整額	△5	△31
法人税等合計	475	460
四半期純利益	735	621

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,211	1,081
減価償却費	369	468
減損損失	5	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△21
賞与引当金の増減額(△は減少)	52	72
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	—	△8
ポイント引当金の増減額(△は減少)	4	8
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6	4
受取利息及び受取配当金	△10	△16
支払利息	23	18
補助金収入	—	△44
固定資産圧縮損	—	44
抱合せ株式消滅差損益(△は益)	△145	—
固定資産除売却損益(△は益)	1	—
賃貸借契約解約損	1	0
売上債権の増減額(△は増加)	△27	△38
たな卸資産の増減額(△は増加)	△304	△1,150
未収入金の増減額(△は増加)	△94	△208
仕入債務の増減額(△は減少)	1,273	2,504
未払金の増減額(△は減少)	△79	190
未払消費税等の増減額(△は減少)	△232	0
その他	64	93
小計	2,120	2,999
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△23	△18
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△834	△496
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,262	2,484
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,305	△1,694
敷金及び保証金の差入による支出	△130	△71
補助金の受取額	—	44
その他	△27	△84
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,463	△1,805
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,200	1,200
長期借入金の返済による支出	△943	△900
リース債務の返済による支出	△24	△25
配当金の支払額	△114	△142
その他	△8	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	109	123
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△91	802
現金及び現金同等物の期首残高	1,921	999
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	141	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,971	1,801

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 仕入及び販売の状況

① 仕入実績

当第2四半期累計期間における部門別仕入実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルスケア	4,650	24.3	5,046	23.8	+8.5
ビューティケア	3,463	18.1	3,992	18.9	+15.3
ホームケア	2,480	13.0	2,587	12.2	+4.3
コンビニエンスケア	8,521	44.6	9,541	45.1	+12.0
合計	19,116	100.0	21,168	100.0	+10.7

② 販売実績

イ. 部門別販売実績

当第2四半期累計期間における部門別販売実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルスケア	6,587	26.9	6,864	26.3	+4.2
ビューティケア	4,783	19.5	4,994	19.2	+4.4
ホームケア	3,005	12.3	3,118	12.0	+3.7
コンビニエンスケア	10,110	41.3	11,057	42.5	+9.4
合計	24,488	100.0	26,034	100.0	+6.3

ロ. 地域別販売実績

当第2四半期累計期間における地域別販売実績を示すと、次のとおりであります。

地域別	前第2四半期累計期間		当第2四半期累計期間		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
青森県	2,902	11.8	3,011	11.6	+3.8
秋田県	2,683	11.0	2,590	9.9	△3.5
岩手県	12,668	51.7	13,236	50.8	+4.5
宮城県	5,914	24.2	6,653	25.6	+12.5
山形県	319	1.3	542	2.1	+69.9
合計	24,488	100.0	26,034	100.0	+6.3